

8 環境・地域活動

-
- (1) 環境のために心がけていること
 - (2) 食品ロス削減のために心がけていること
 - (3) 日頃から環境への影響を考えた具体的な行動状況
 - (4) 町会・自治会の加入や活動
 - (5) 町会・自治会に加入しない理由
 - (6) この1年間に参加した活動と引き続き、または今後参加したい活動
-

8 環境・地域活動

(1) 環境のために心がけていること

■ “ごみと資源の分別”が8割台半ばを超えて1位、“不要なレジ袋を断る”が約8割で2位

問39 あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

図8-1-1-① 経年比較／環境のために心がけていること

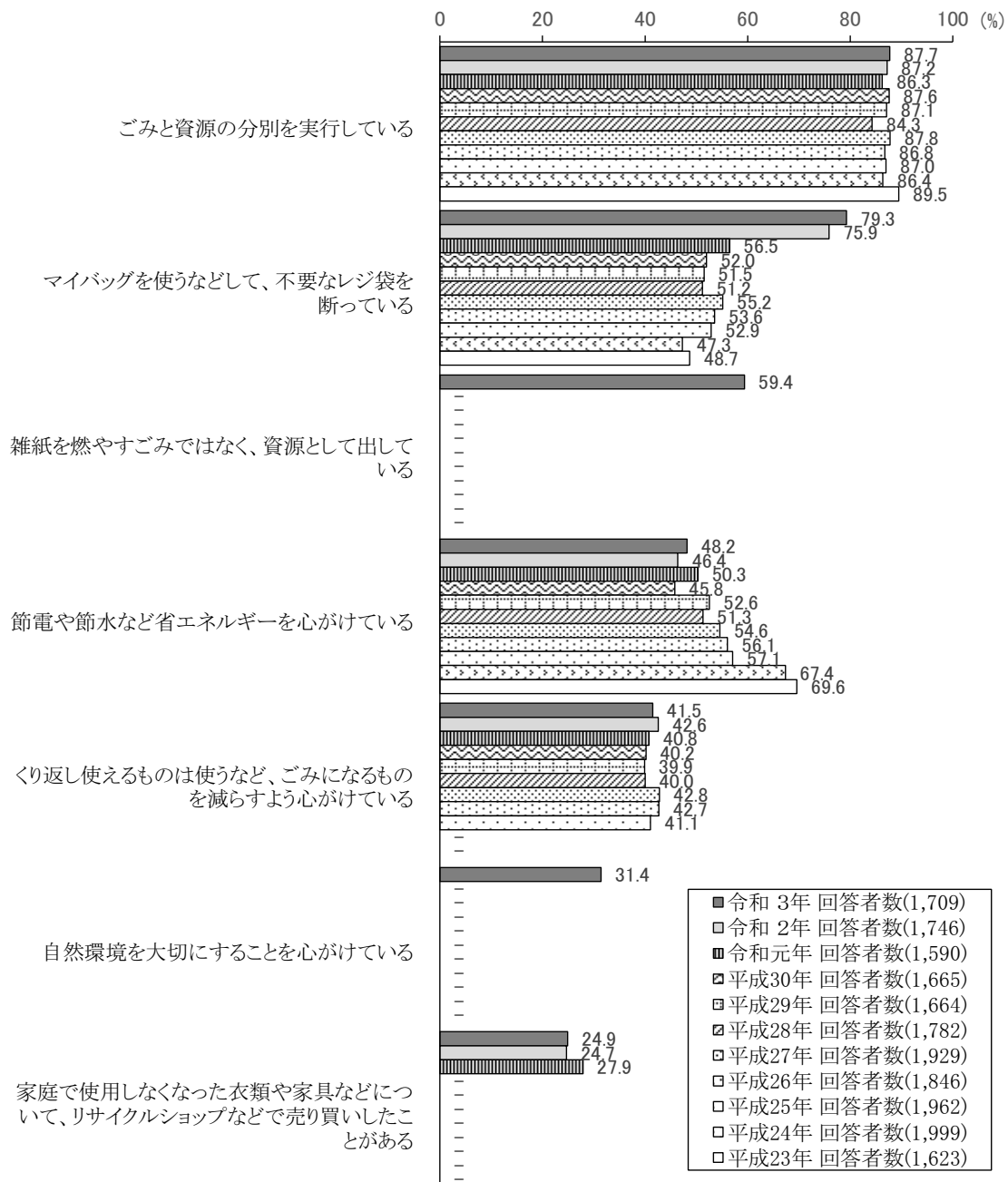
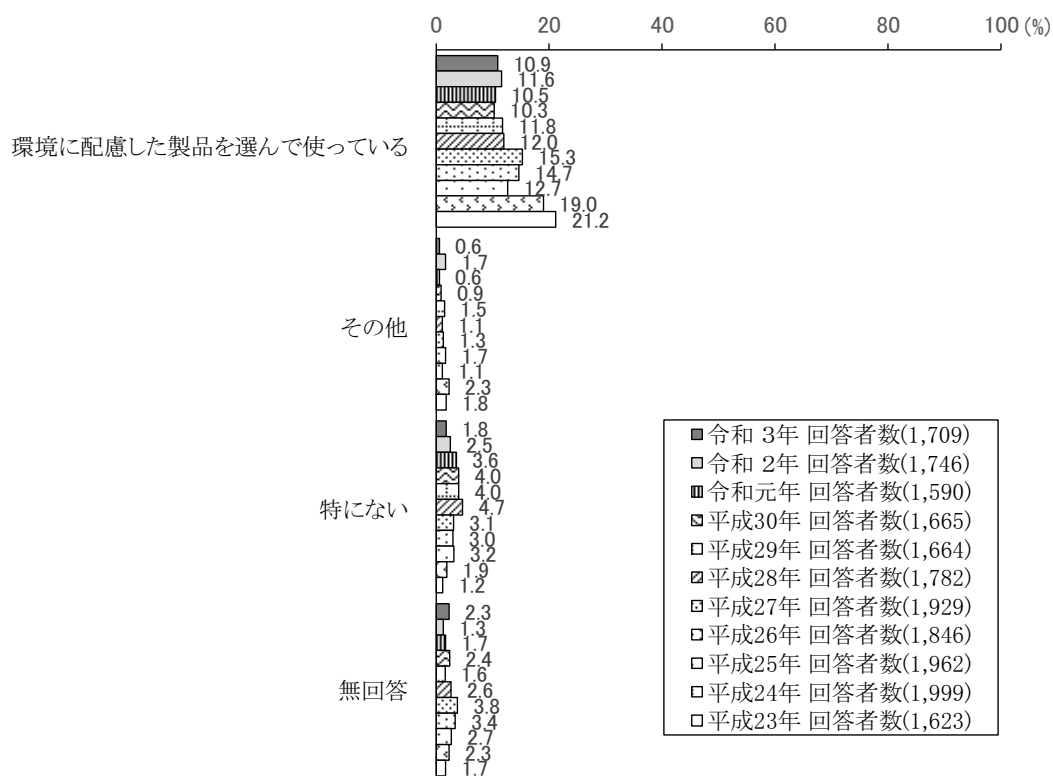


図8-1-1-② 経年比較／環境のために心がけていること



※「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」は、平成25年度新設。
 ※「家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある」は令和元年度新設。
 ※「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」と「自然環境を大切にすることを心がけている」は今回の令和3年度調査で新設。

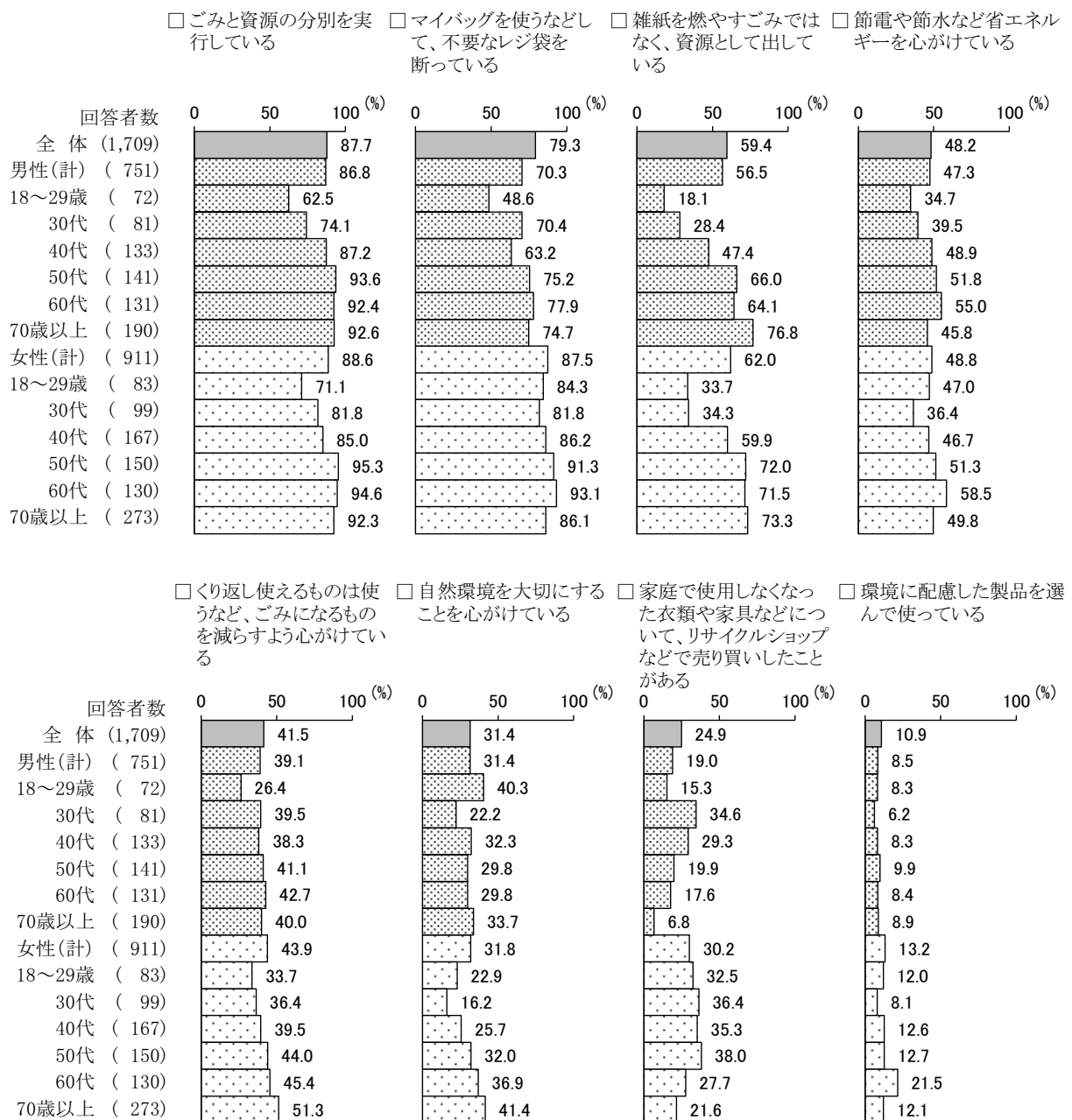
環境のために心がけていることとしては、「ごみと資源の分別を実行している」が8割台半ばを超えて最も高く、次いで、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(79.3%)、「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」(59.4%)、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(48.2%)、「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」(41.5%) などとなっている。

経年でみると、今回調査で新設された「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」(59.4%) と「自然環境を大切にすることを心がけている」(31.4%) の2項目がそれぞれ第3位と第6位となっている。前回調査と比較可能な項目では、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」が前回調査(75.9%)より3.4ポイント増加している。

性別でみると、すべての項目で女性の方が男性より高くなっており、特に差が大きい項目は、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（女性87.5％・男性70.3％）で17.2ポイント、「家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある」（女性30.2％・男性19.0％）で11.2ポイントとなっている。

性・年代別でみると、「ごみと資源の分別を実行している」は男女とも50代以上で9割台と高く、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は女性の50代、60代で9割台と高くなっている。また「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」は男性の70歳以上（76.8％）、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は女性の60代（58.5％）で最も高くなっている。上位5項目のすべてで男性の18～29歳が最も低くなっているのが特徴的だが、第6位の「自然環境を大切にすることを心がけている」では女性の70歳以上（41.4％）とともに男性の18～29歳（40.3％）が4割台と高くなっていることも特徴となっている。

図8-1-2 性別、性・年代別／環境のために心がけていること



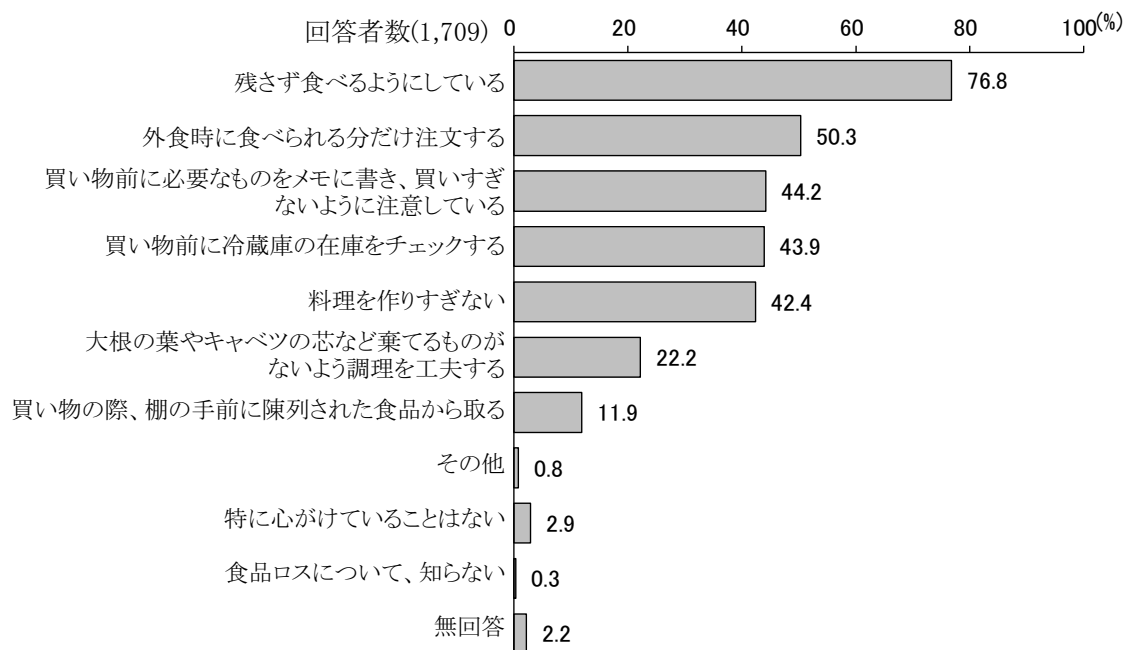
（2）食品ロス削減のために心がけていること

■「残さず食べるようにしている」が7割台半ば

問40 あなたが、食品ロス削減のために心がけていることは何ですか

（〇はあてはまるものすべて）。

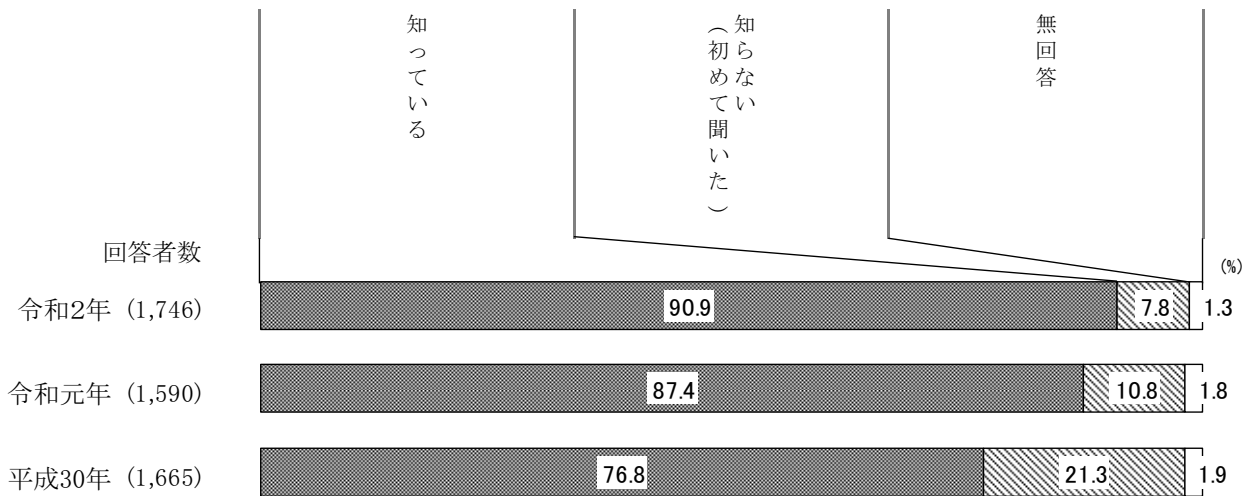
図8-2-1 食品ロス削減のために心がけていること



食品ロス削減のために心がけていることとしては、「残さず食べるようにしている」が76.8%で最も高く、次いで、「外食時に食べられる分だけ注文する」(50.3%)、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」(44.2%)、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」(43.9%)、「料理を作りすぎない」(42.4%) などとなっている。

参考／（令和2年度以前）「食品ロス」の認知者を対象にして、食品ロス削減のために心がけていることを聞いた

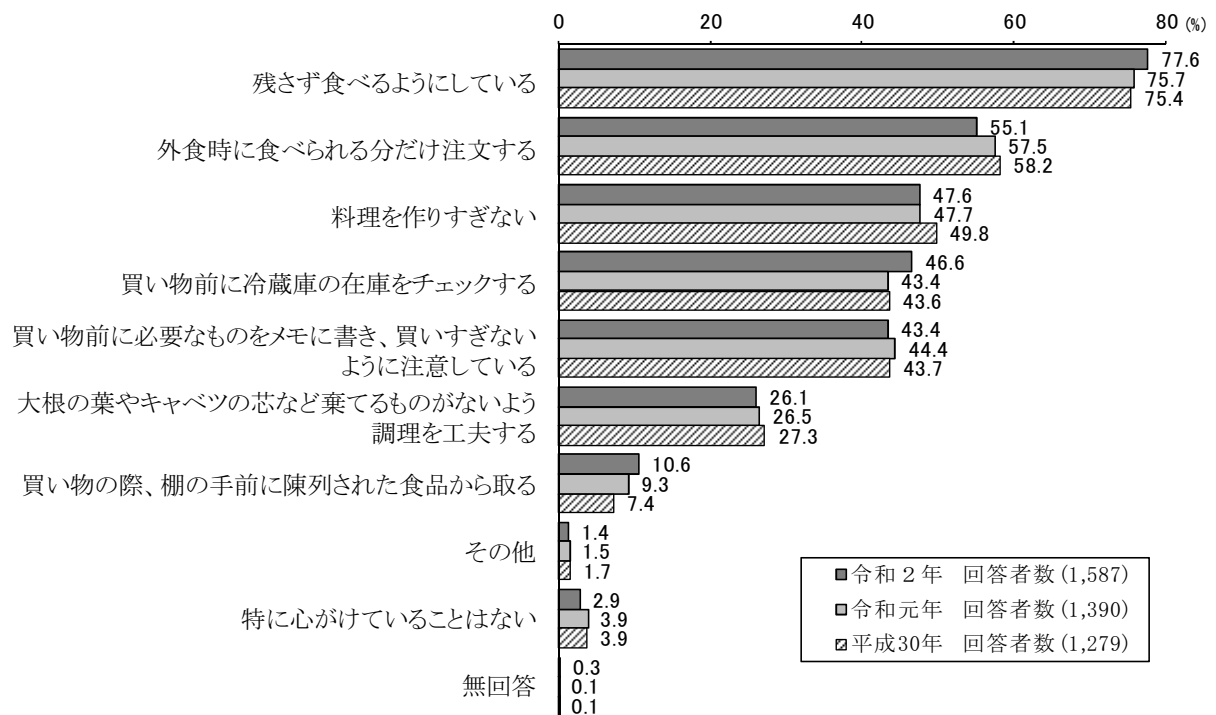
問 あなたは、「食品ロス」という言葉を知っていますか（〇は1つだけ）。



問 で「1 知っている」とお答えの方に

問 - 1 あなたが、食品ロス削減のために心がけていることは何ですか

（〇はあてはまるものすべて）。

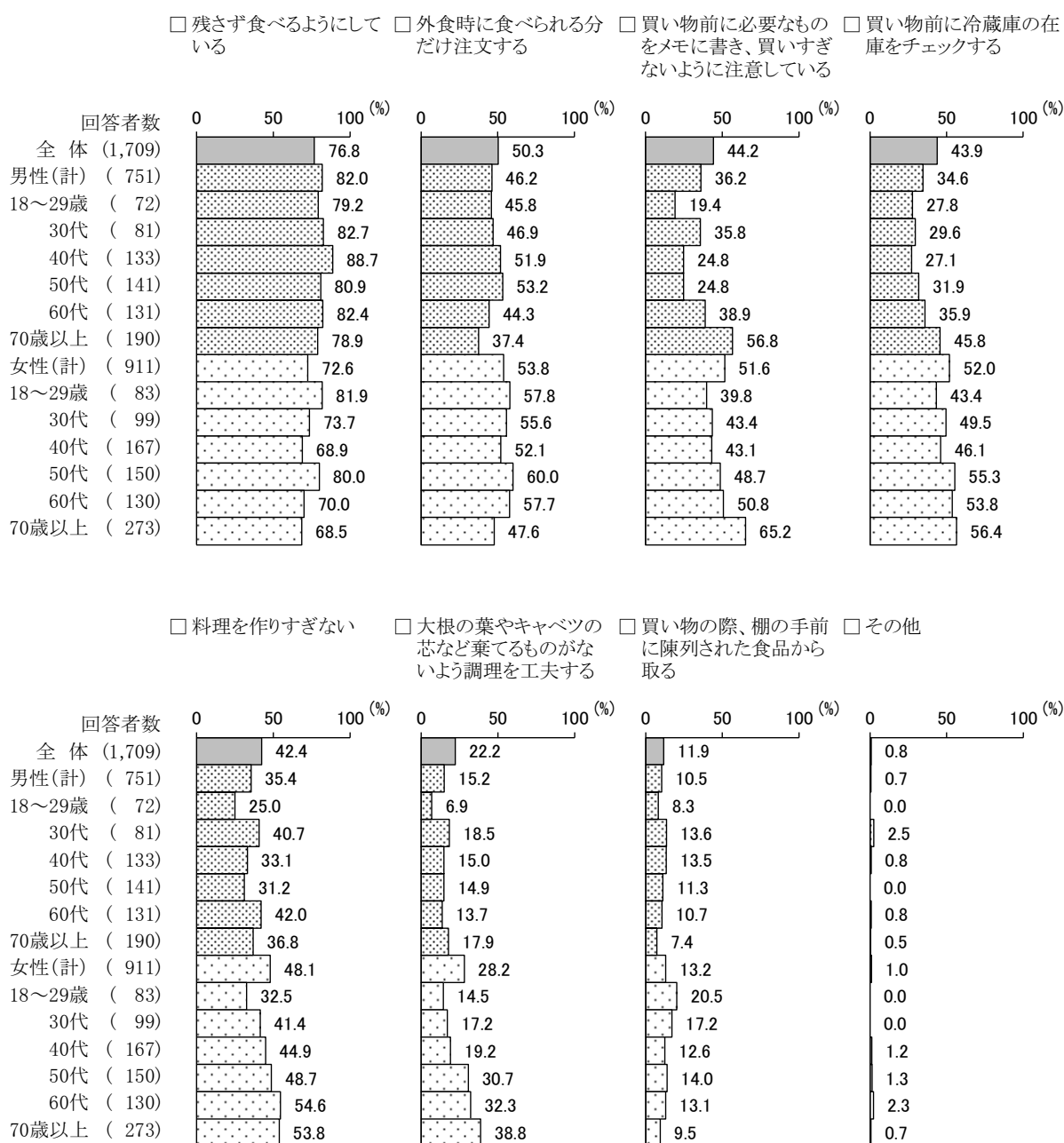


第3章 調査結果の分析 〈 環境・地域活動 〉

性別でみると、「残さず食べるようにしている」は男性（82.0%）の方が女性（72.6%）より9.4ポイント高くなっている。その他の項目はすべて女性の方が男性より高くなっており、特に、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」（性差17.4ポイント）、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（性差15.4ポイント）でそれぞれ女性の方が15ポイント以上高くなっている。

性・年代別でみると、「残さず食べるようにしている」は男性の40代で88.7%と最も高くなっているが、「外食時に食べられる分だけ注文する」は女性の50代（60.0%）、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」は女性の70歳以上（65.2%）、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」も女性の70歳以上（56.4%）など、おおむね女性の50代以上で他の性・年代層に比べ高くなっている。

図8-2-2 性別、性・年代別／食品ロス削減のために心がけていること



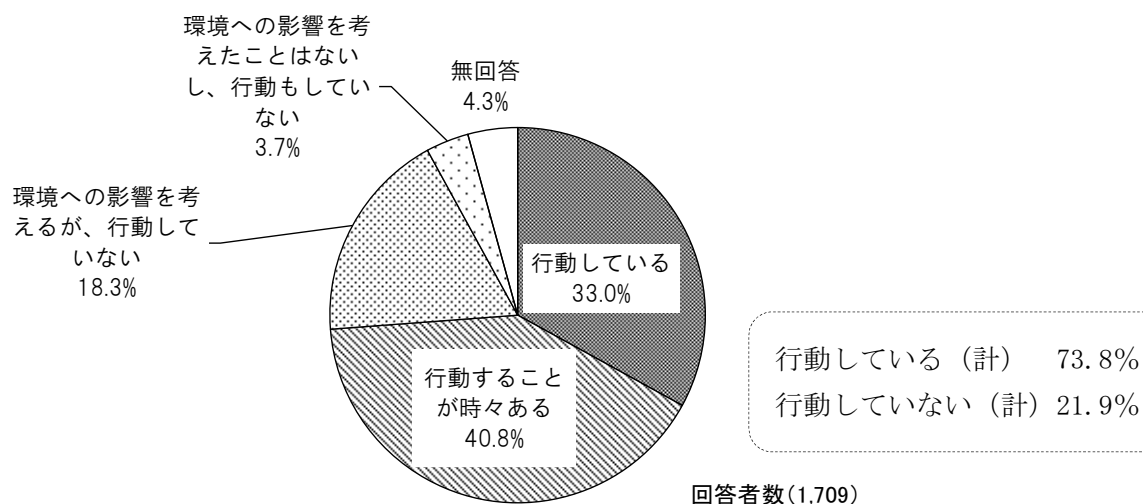
（3）日頃から環境への影響を考えた具体的な行動状況

■ 「行動している」が3割強、「行動することが時々ある」が4割

問41 あなたは、日頃から環境への影響を考えて具体的に行動（※）していますか
（○は1つだけ）。

※ 問39（1から8）や問40（1から7）で示された内容のことです。

図8-3-1 日頃から環境への影響を考えた具体的な行動状況



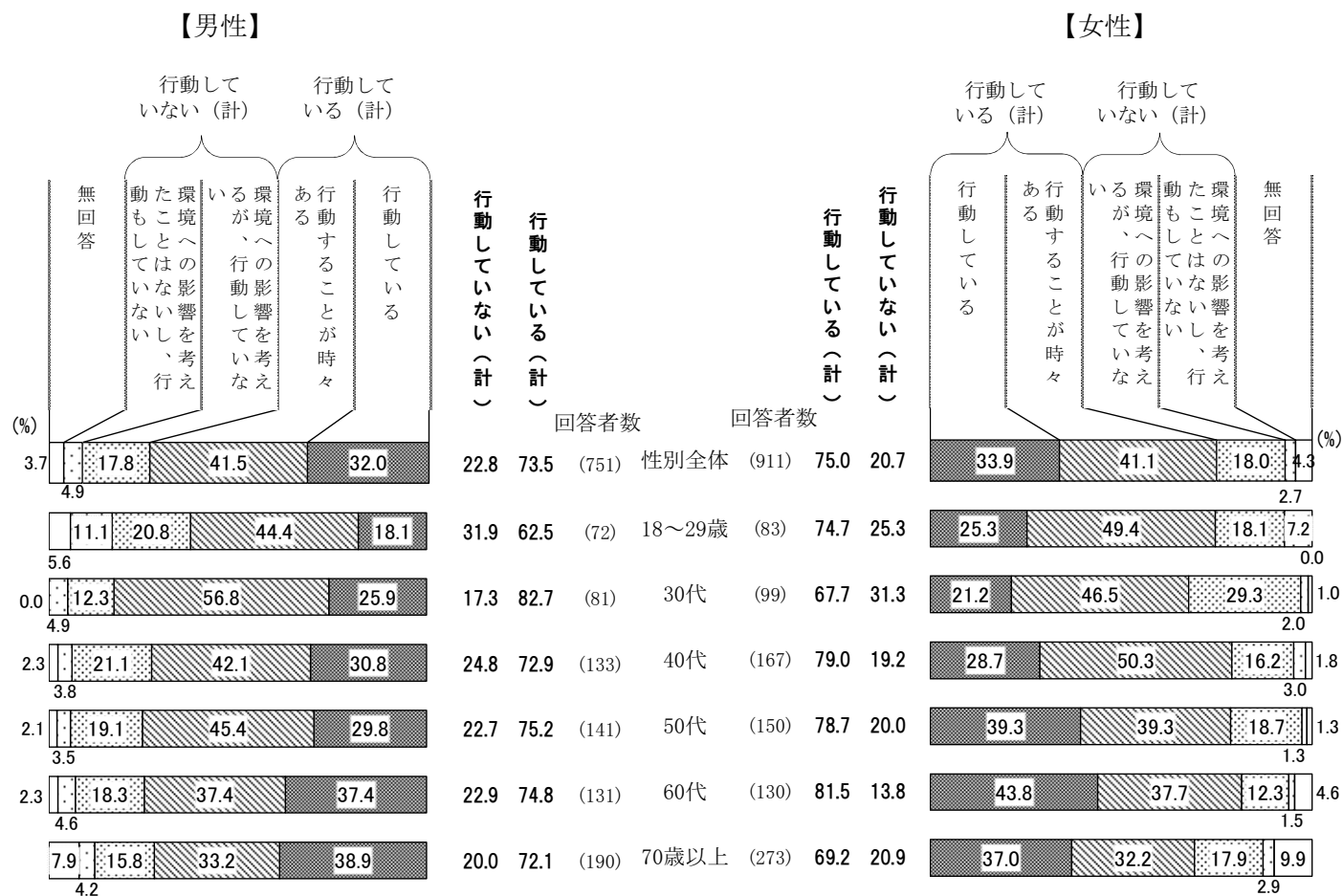
環境への影響を考えた日頃からの行動状況は、「行動することが時々ある」が40.8%で最も高く、次いで、「行動している」で33.0%となり、これらを合わせた【行動している】は7割台半ば近くとなっている。一方、「環境への影響を考えるが、行動していない」（18.3%）と「環境への影響を考えたことはないし、行動もしていない」（3.7%）を合わせた【行動していない】は2割強となっている。

第3章 調査結果の分析〈環境・地域活動〉

性別でみると、特に大きな違いは見られない。

性・年代別でみると、【行動している】は男性の30代で82.7%と最も高く、女性の60代でも81.5%と高くなっており、男性の18～29歳で62.5%と最も低くなっている。

図8-3-2 性別、性・年代別／日頃から環境への影響を考えた具体的な行動状況

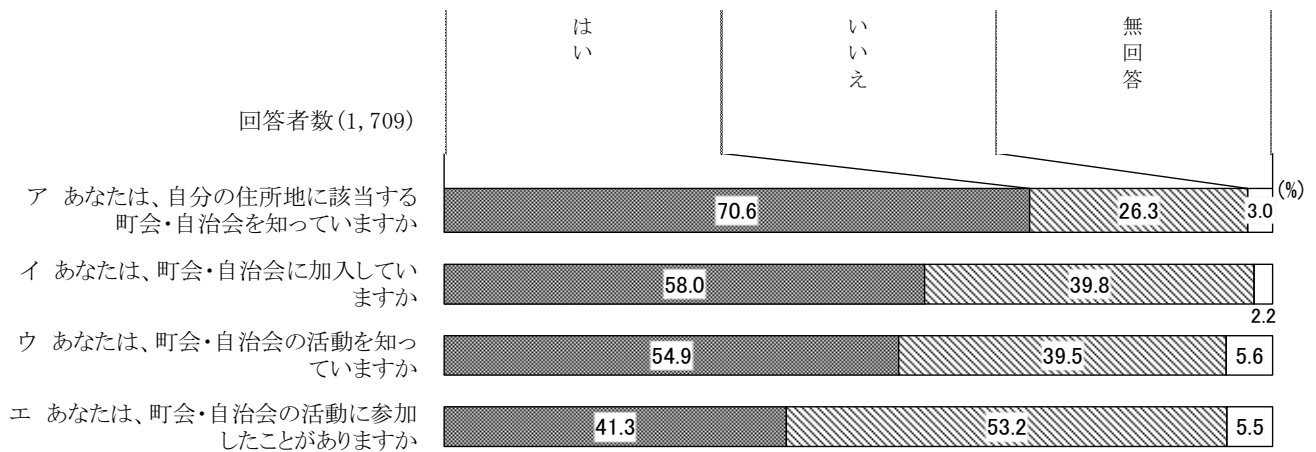


(4) 町会・自治会の加入や活動

■ 「加入している」が6割弱、「活動に参加している」は4割強

問42 町会・自治会の加入や活動についてお答えください（○はそれぞれ1つつつ）。

図8-4-1 町会・自治会の加入や活動



自分の住所地に該当する町会・自治会の認知については、「はい（知っている）」が70.6%を占め、「いいえ（知らない）」が26.3%となっている。

町会・自治会への加入状況は、「はい（加入している）」が58.0%で、「いいえ（加入していない）」の39.8%を上回っている。

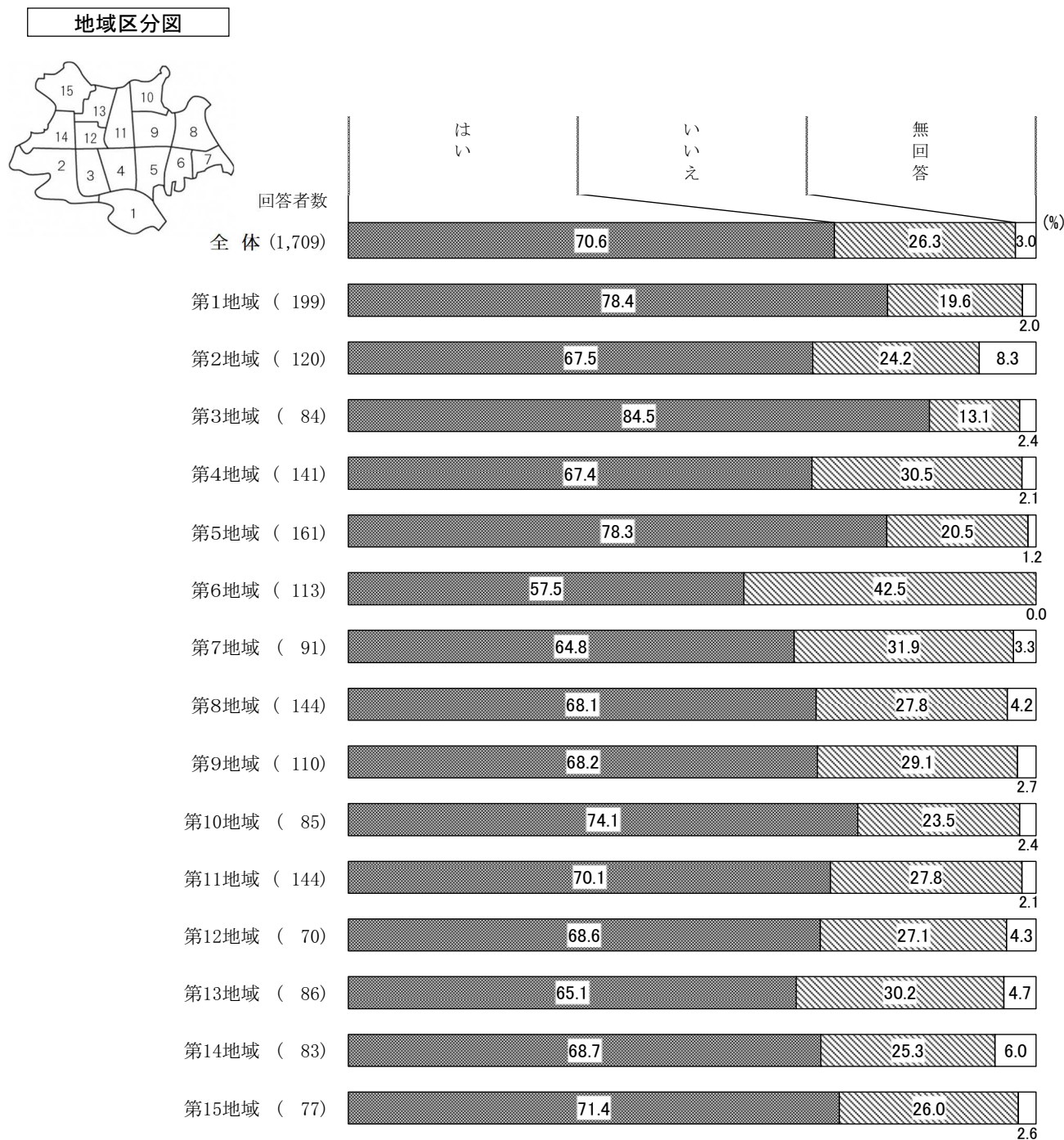
町会・自治会の活動内容については、「はい（知っている）」が54.9%で、「いいえ（知らない）」の39.5%を上回っている。

町会・自治会の活動への参加状況は、「いいえ（参加していない）」が53.2%で、「はい（参加している）」の41.3%より上回っている。

第3章 調査結果の分析 〈 環境・地域活動 〉

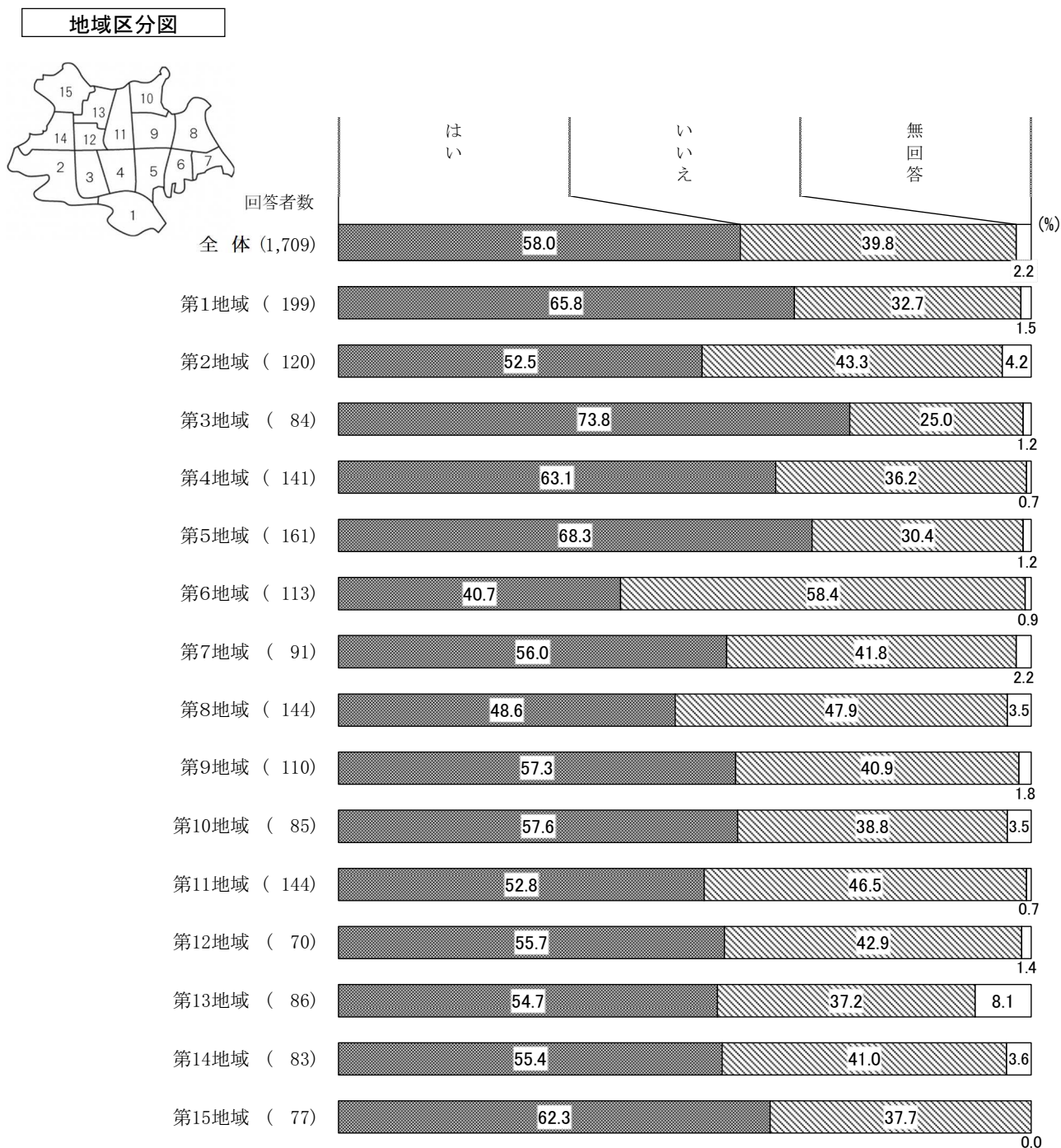
自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況を地域別にみると、「はい（知っている）」は第3地域が84.5%で最も高く、次いで、第1地域（78.4%）、第5地域（78.3%）が7割台後半となっている。一方、「いいえ（知らない）」は第6地域が42.5%で他の地域に比べ特に高く、次いで、第7地域（31.9%）、第4地域（30.5%）、第13地域（30.2%）が3割台となっている。

図8-4-2-① 地域別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況



町会・自治会への加入状況を地域別にみると、「はい（加入している）」は第3地域が73.8%で最も高く、次いで、第5地域（68.3%）が7割弱となっている。一方、「いいえ（加入していない）」は第6地域が58.4%で他の地域に比べ特に高く、次いで、第8地域（47.9%）、第11地域（46.5%）が4割台後半となっている。

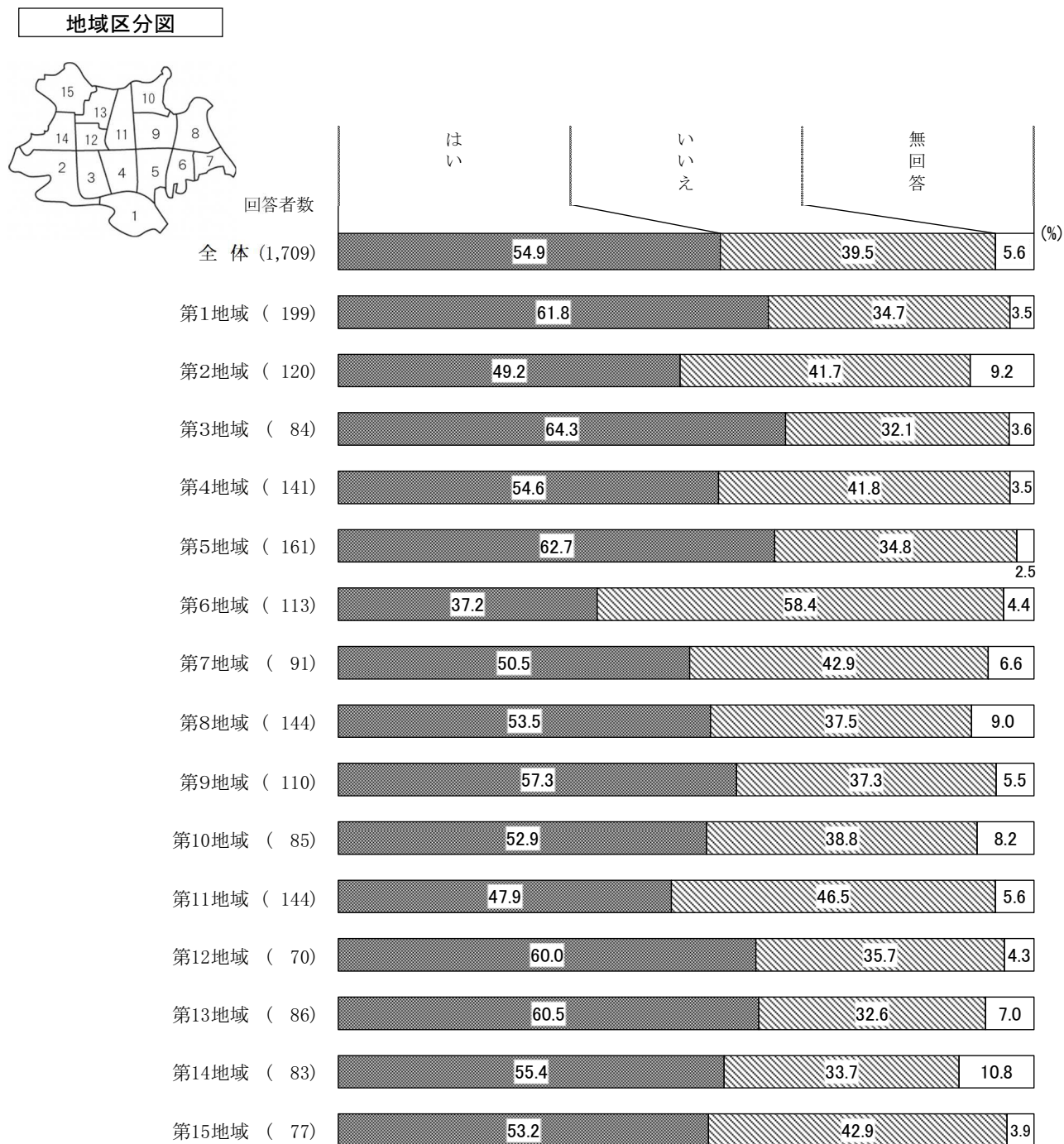
図8-4-2-② 地域別／町会・自治会の加入状況



第3章 調査結果の分析 〈 環境・地域活動 〉

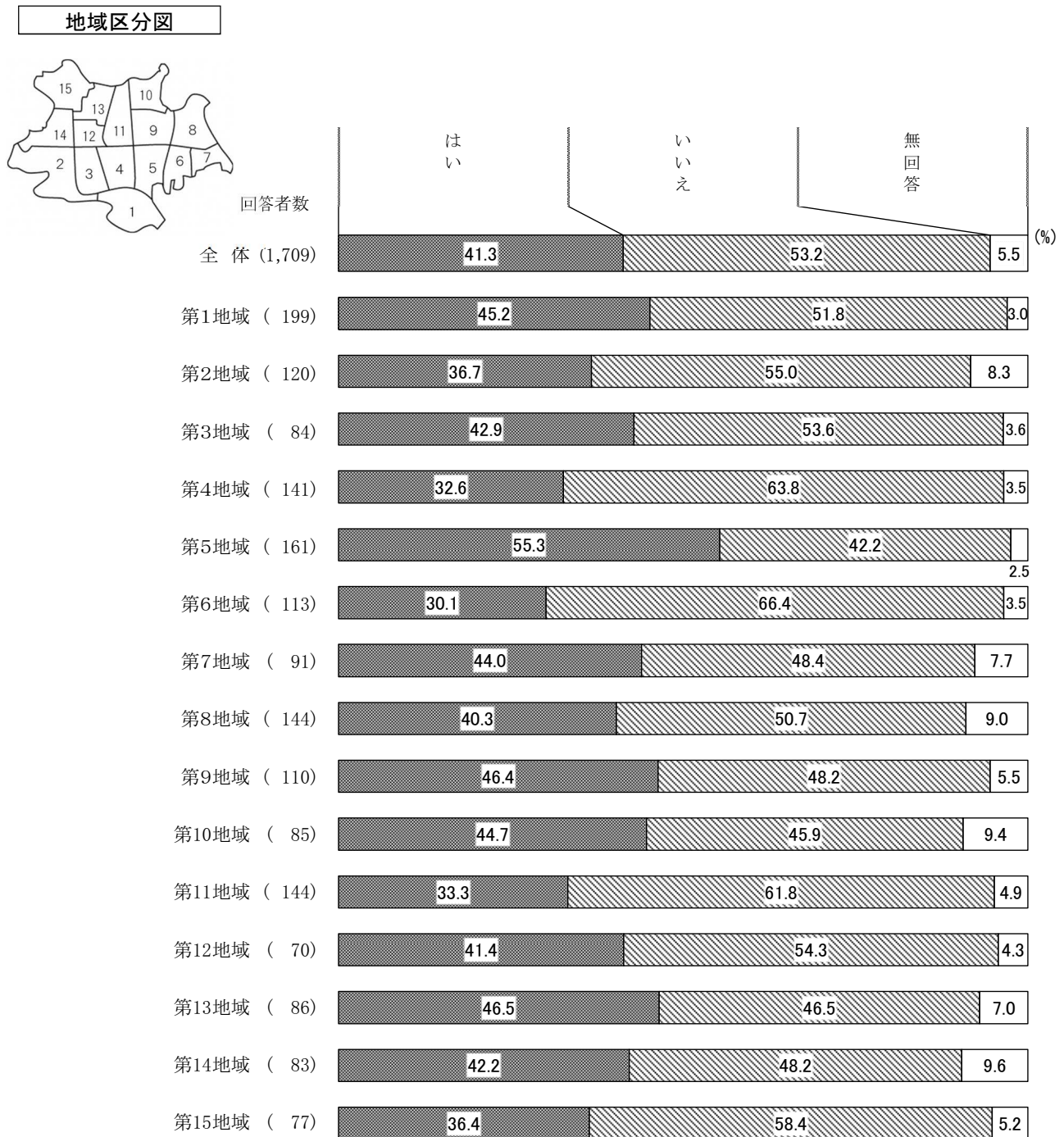
町会・自治会活動の認知状況を地域別にみると、「はい（知っている）」は第3地域が64.3%で最も高く、次いで、第5地域（62.7%）、第1地域（61.8%）が6割強となっている。一方、「いいえ（知らない）」は第6地域が58.4%で他の地域に比べ特に高く、次いで、第11地域が46.5%となっている。

図8-4-2-③ 地域別／町会・自治会活動の認知状況



町会・自治会活動への参加状況を地域別にみると、「はい（参加している）」は第5地域が55.3%で最も高く、次いで、第13地域（46.5%）、第9地域（46.4%）が6割台半ばで続いている。一方、「いいえ（参加していない）」は第6地域が66.4%で最も高く、次いで、第4地域（63.8%）、第11地域（61.8%）が6割台となっている。

図8-4-2-④ 地域別／町会・自治会活動の参加状況

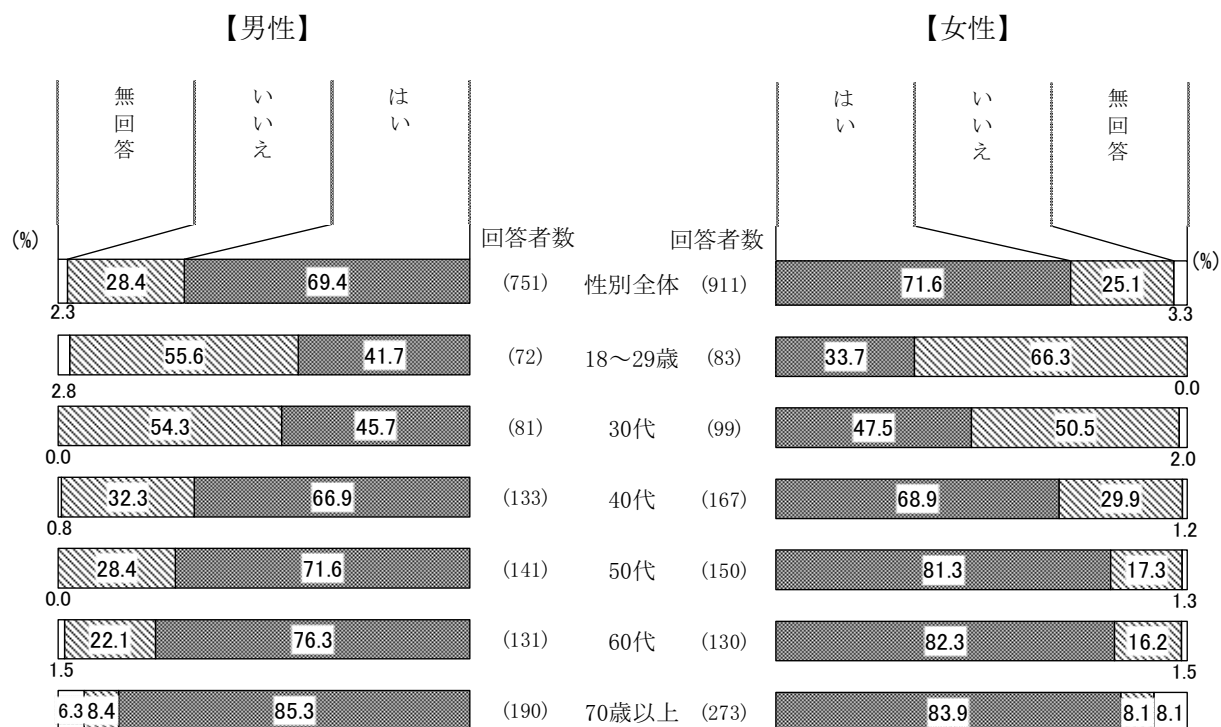


第3章 調査結果の分析〈環境・地域活動〉

自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況を性別にみると、「はい（知っている）」は女性（71.6%）の方が男性（69.4%）より僅かに高くなっている。

性・年代別にみると、「はい（知っている）」は男性の70歳以上が85.3%で最も高く、女性の50代以上でも8割台と高くなっている。一方、「いいえ（知らない）」は、女性の18～29歳で66.3%と最も高く、次いで、男性の30代以下と女性の30代で5割台となっている。

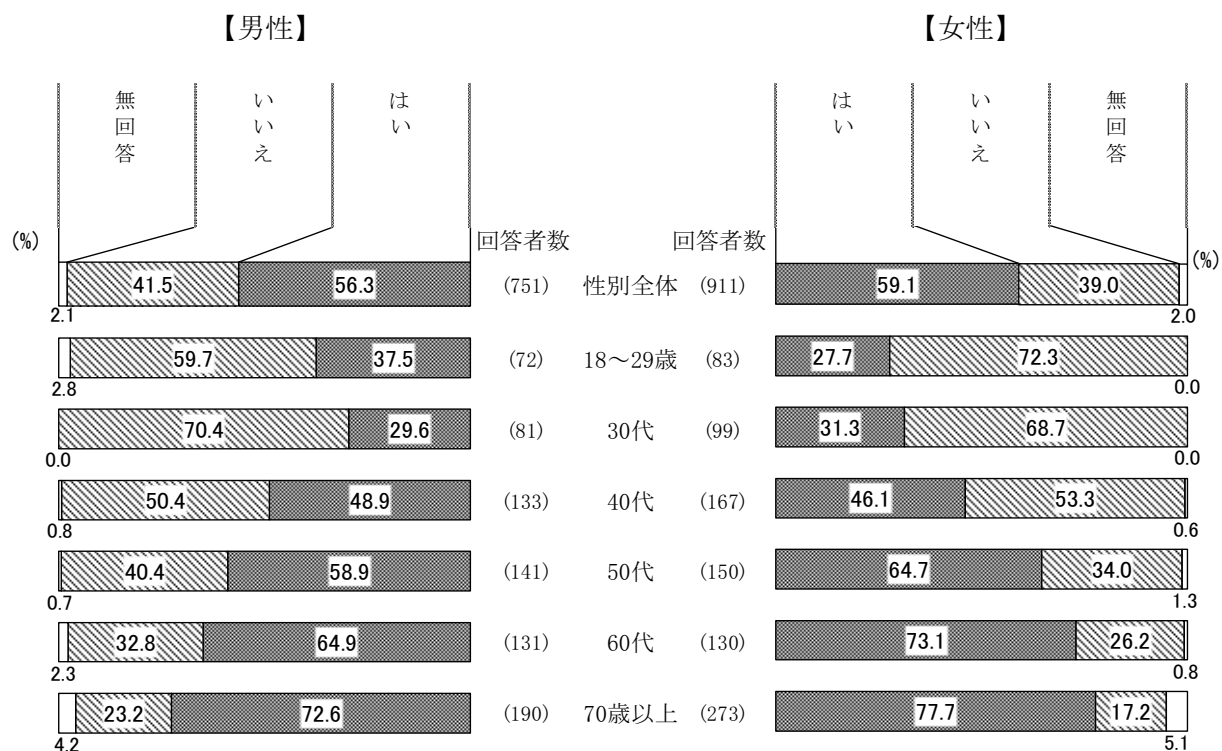
図8-4-3-① 性別、性・年代別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況



町会・自治会の加入状況を性別にみると、「はい（加入している）」は女性（59.1%）の方が男性（56.3%）より僅かに高くなっている。

性・年代別にみると、「はい（加入している）」は女性の70歳以上が77.7%で最も高く、女性の60代と男性の70歳以上でも7割台と高くなっている。一方、「いいえ（加入していない）」は、女性の18～29歳で72.3%と最も高く、次いで、男性の30代も7割となっている。

図8-4-3-② 性別、性・年代別／町会・自治会の加入状況

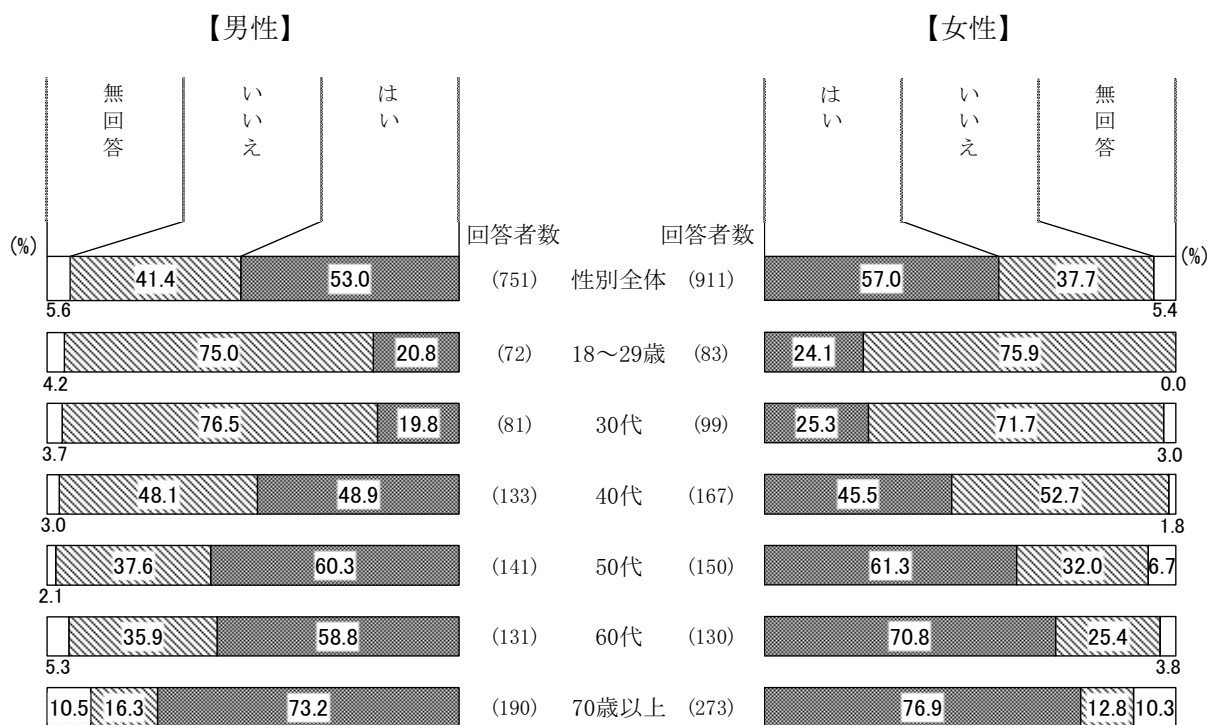


第3章 調査結果の分析〈環境・地域活動〉

町会・自治会活動の認知状況を性別にみると、「はい（知っている）」は女性（57.0%）の方が男性（53.0%）より4.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「はい（知っている）」は女性の70歳以上が76.9%で最も高く、次いで男性の70歳以上も7割台半ば近くと高くなっている。一方、「いいえ（知らない）」は、男性の30代で76.5%と最も高く、次いで女性の18～29歳と男性の18～29歳でも7割台半ばで続いている。

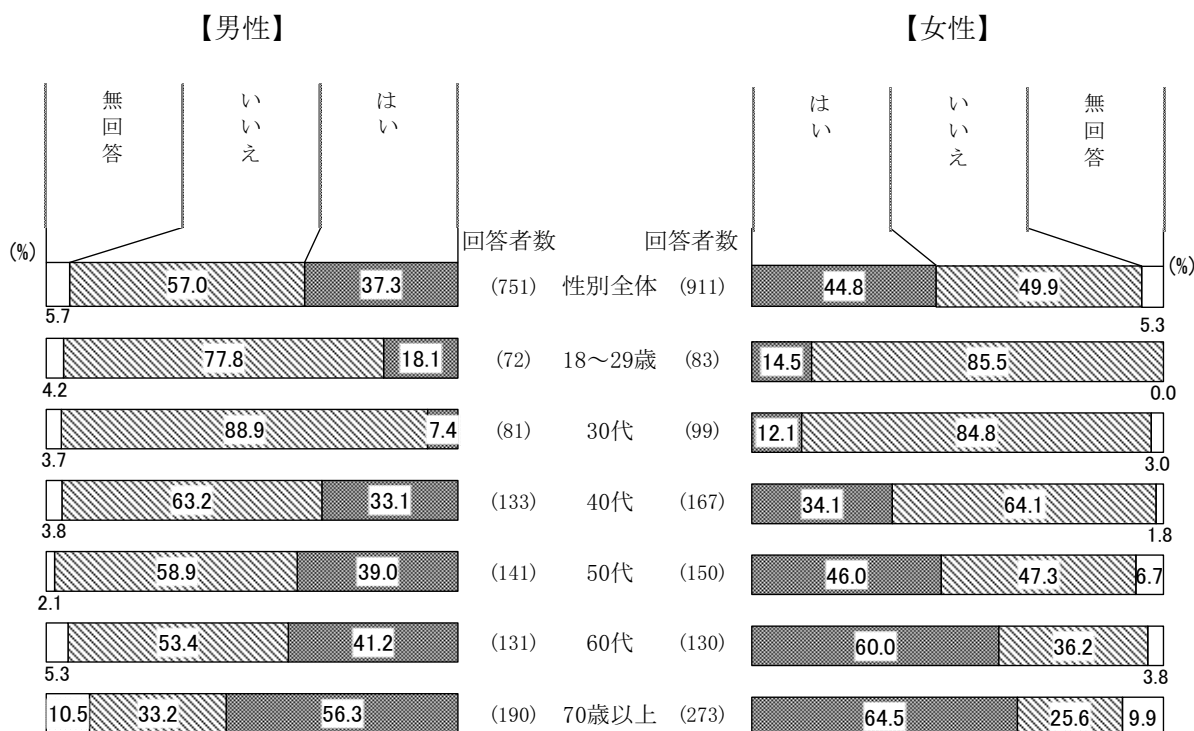
図8-4-3-③ 性別、性・年代別／町会・自治会活動の認知状況



町会・自治会の活動への参加状況を性別にみると、「はい（参加している）」は女性（44.8％）の方が男性（37.3％）より7.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「はい（参加している）」は女性の70歳以上が64.5％で最も高く、次いで女性の60代が6割と高くなっている。一方、「いいえ（参加していない）」は、男性の30代で88.9％と最も高く、次いで、女性の30代以下でも8割台半ばと高くなっている。

図8-4-3-④ 性別、性・年代別／町会・自治会活動の参加状況

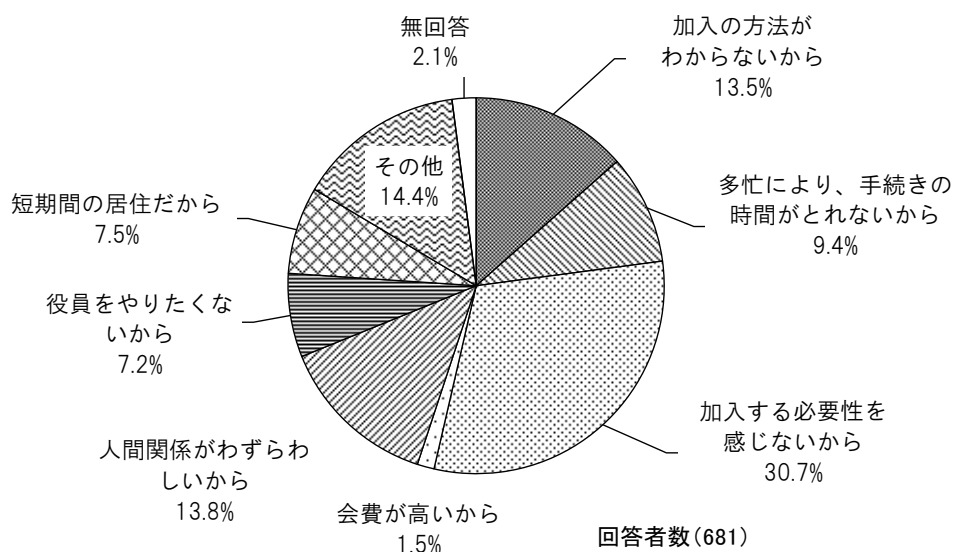


（５）町会・自治会に加入しない理由

■ 「加入の必要性を感じない」が3割、次いで「人間関係がわずらわしい」が1割台半ば近く

問42の「イ あなたは、町会・自治会に加入していますか。」で「2 ない」とお答えの方に
問42－1 あなたが、町会・自治会に加入しない最も大きな理由は何ですか（○は1つだけ）。

図8－5－1 町会・自治会に加入しない理由

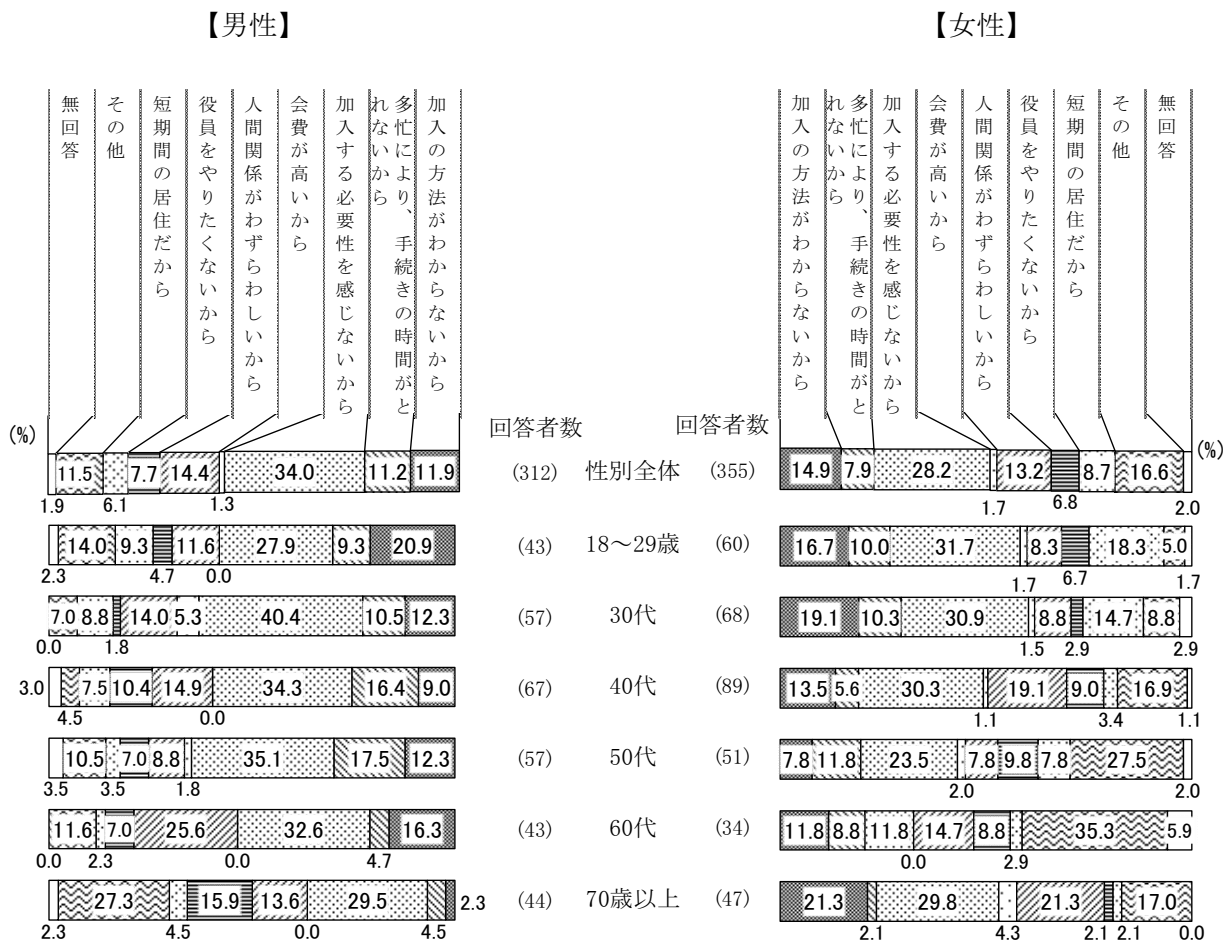


町会・自治会に加入していない理由は、「加入する必要性を感じないから」が30.7%で最も高く、以下「人間関係がわずらわしいから」(13.8%)、「加入の方法がわからないから」(13.5%)、「多忙により、手続きの時間がとれないから」(9.4%)、「短期間の居住だから」(7.5%)、「役員をやりたいから」(7.2%)、「会費が高いから」(1.5%)と続いている。なお「その他」が14.4%となっている。

町会・自治会に加入していない理由を性別にみると、「加入する必要性を感じないから」は男性（34.0%）の方が女性（28.2%）より5.8ポイント高く、「多忙により、手続きの時間がとれないから」でも男性（11.2%）の方が女性（7.9%）より3.3ポイント高くなっている。逆に「加入の方法がわからないから」は女性（14.9%）の方が男性（11.9%）より3.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「加入する必要性を感じないから」は男性の30代で40.4%と最も高く、女性の60代（11.8%）で最も低くなっている。「人間関係がわずらわしいから」は男性の60代で25.6%と最も高く、女性の50代（7.8%）で最も低くなっている。

図8-5-2 性別、性・年代別／町会・自治会に加入しない理由



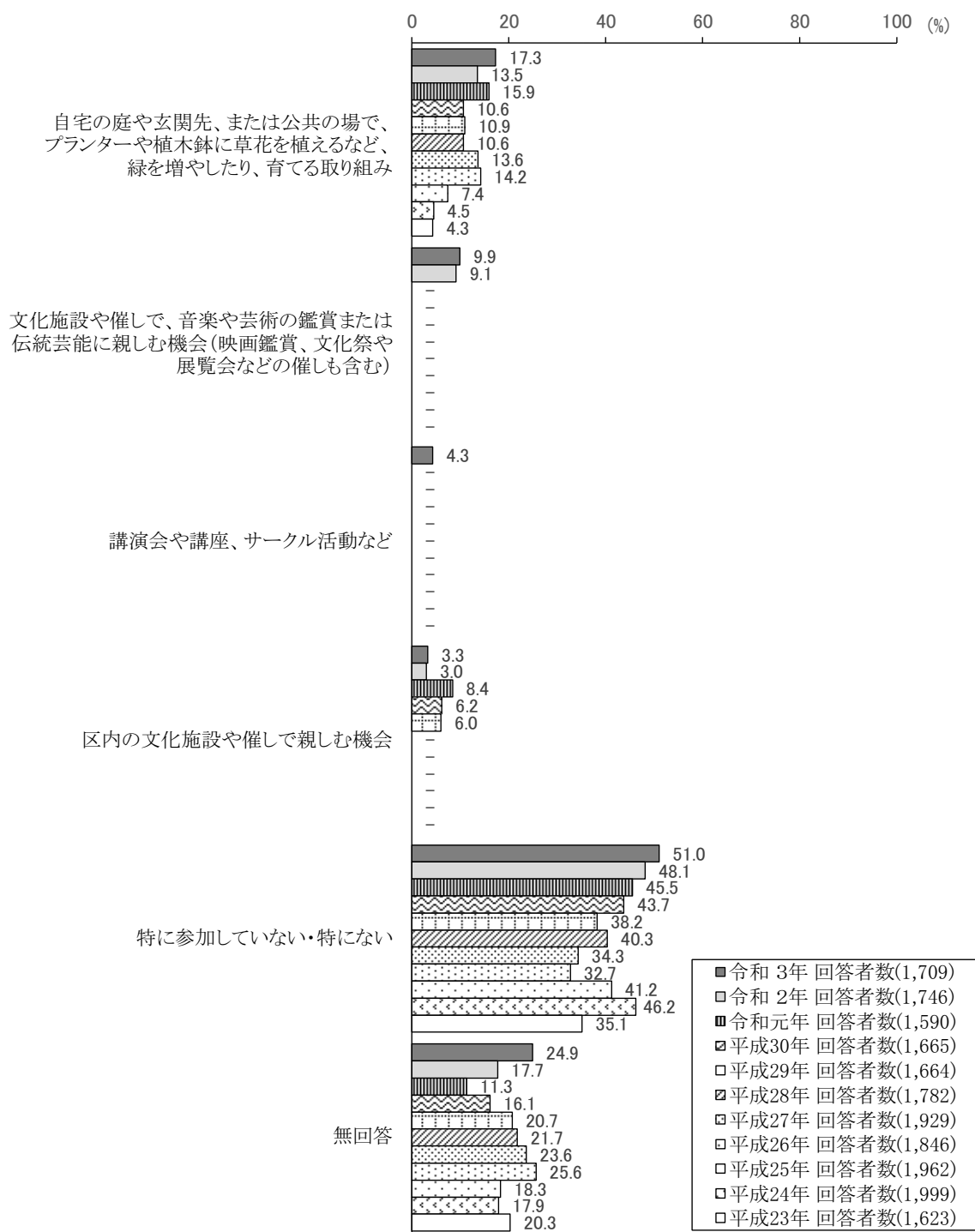
(6) この1年間に参加した活動と引き続き、または今後参加したい活動

■ 活動実績は、コロナ禍の影響で「特に参加していない・特にない」が増加し5割強

問43 あなたがこの1年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（〇はいずれも、あてはまるものすべて）。

＜この1年間に参加した活動＞

図8-6-1 経年比較／この1年間に参加した活動



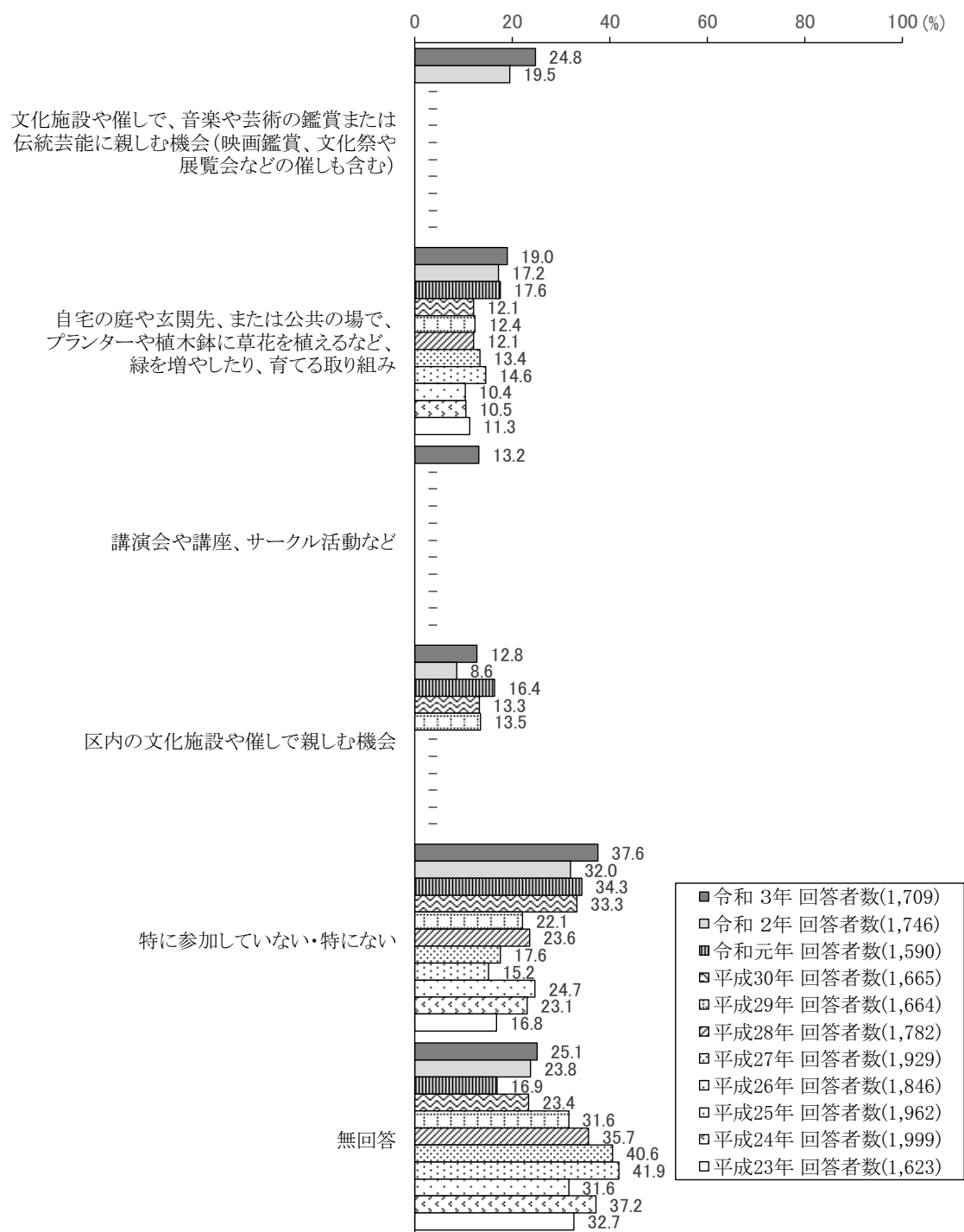
- ※「自宅や店舗の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。
- ※「地域学習センターや地域で行われる講演会や講座、サークル活動など」は、平成29年度から新設したが、今回の令和3年度より割愛。
- ※「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は、平成29年度から新設したが、今回の令和3年度より割愛。
- ※令和元年度に「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は、令和2年度の同項目の補足項目「区内の文化施設や催しで親しむ機会」の新設に伴い、項目文巻頭の「区内の」の表記を割愛した。
- ※「講演会や講座、サークル活動など」は、今回の令和3年度の新設項目。

この1年間の参加状況は、「特に参加していない・特にない」が51.0%となっている。参加した活動としては、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」が17.3%で最も高く、次いで、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」(9.9%)となっている。

経年でみると、新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベント中止の影響を受けてか、「特に参加していない・特にない」が2.9ポイント増加しており、自宅での活動が可能な「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」も3.8ポイント増加している。

〈引き続き、または今後参加したいと思う活動〉

図8-6-2 経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動



- ※「自宅や店舗の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。
- ※「地域学習センターや地域で行われる講演会や講座、サークル活動など」は、平成29年度から新設したが、今回の令和3年度より割愛。
- ※「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は、平成29年度から新設したが、今回の令和3年度より割愛。
- ※令和元年度に「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は、令和2年度の同項目の補足項目「区内の文化施設や催しで親しむ機会」の新設に伴い、項目文巻頭の「区内の」の表記を割愛した。
- ※「講演会や講座、サークル活動など」は、今回の令和3年度の新設項目。

引き続き、または今後参加したい活動は、「特に参加していない・特にない」が37.6%で最も高く、「無回答」も25.1%となっている。具体的な活動としては、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」が24.8%で最も高く、以下「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」（19.0%）、「講演会や講座、サークル活動など」（13.2%）、「区内の文化施設や催しで親しむ機会」（12.8%）の順となっている。

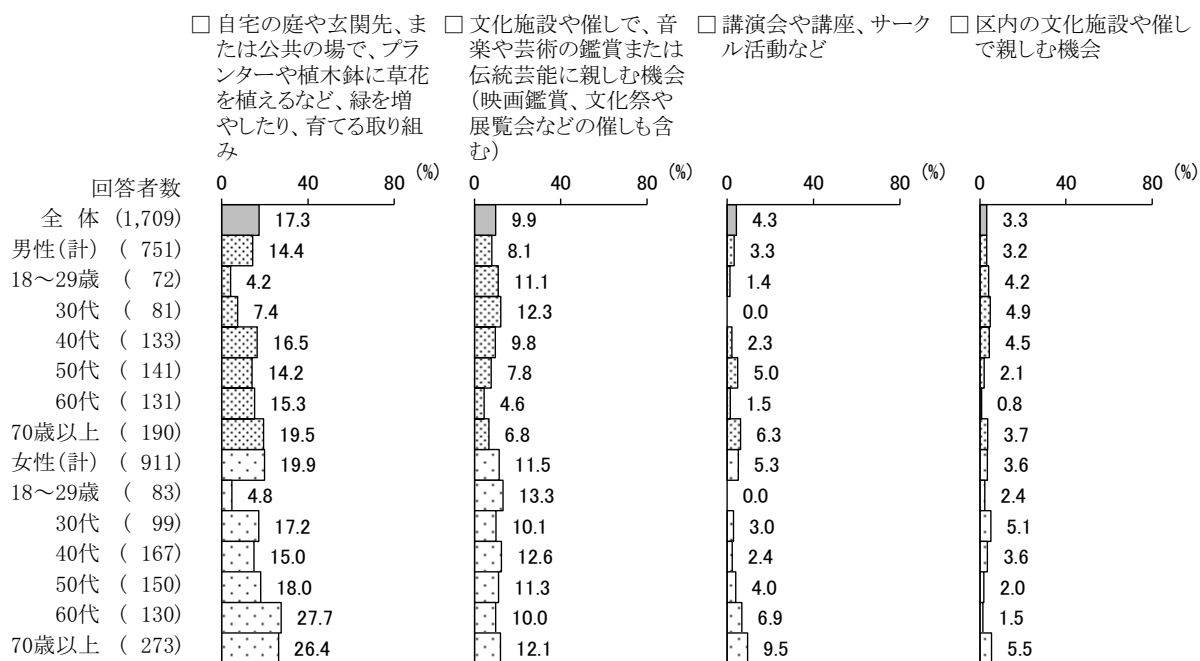
経年でみると、新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベント中止の影響を受けてか、「特に参加していない・特にない」が5.6ポイント増加している。一方で、参加したい活動も割合が増加しており、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」が5.3ポイント増加し、「区内の文化施設や催しで親しむ機会」も4.2ポイント増加している。

＜この1年間に参加した活動＞

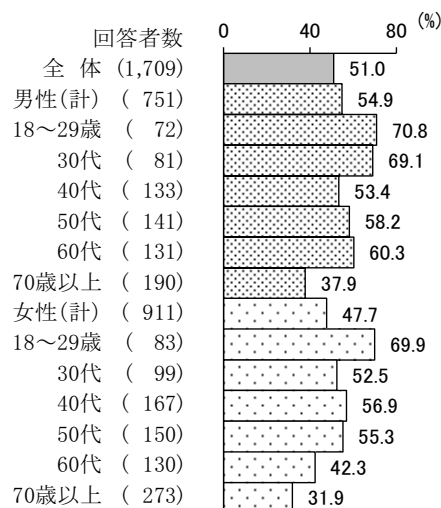
性別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性（54.9%）の方が女性（47.7%）より7.2ポイント高くなっている。〈参加した活動〉は全て女性の方が高くなっており、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は女性（19.9%）の方が男性（14.4%）より5.5ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性の18～29歳で70.8%と最も高く、女性の18～29歳（69.9%）と男性の30代（69.1%）が約7割で続いている。男女とも70歳以上で3割台と低くなっている。「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は女性の60代と70歳以上が2割台半ばと高くなっている。

図8-6-3 性別、性・年代別／この1年間に参加した活動／上位4項目



□ 特に参加していない・特にない

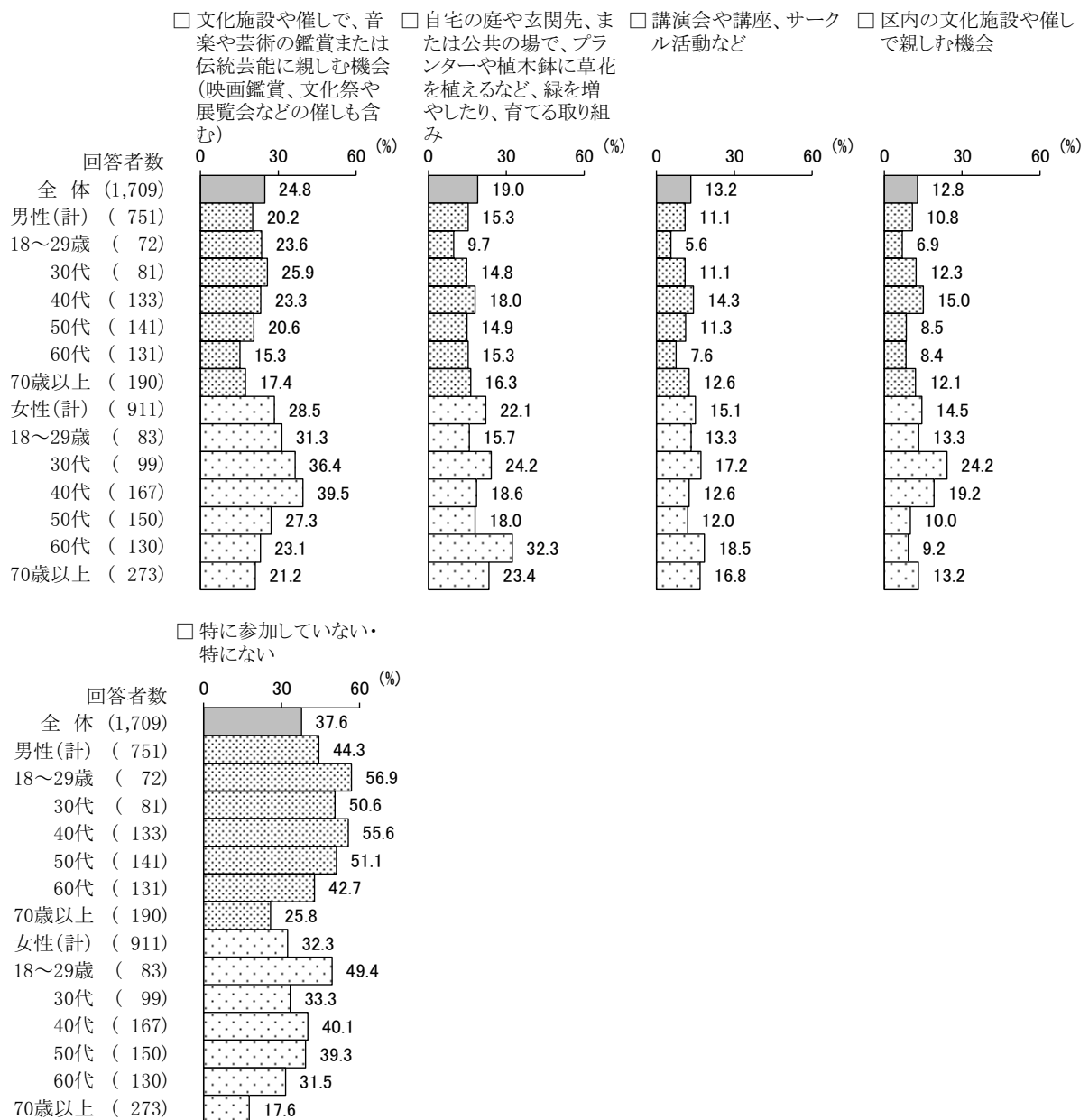


＜引き続き、または今後参加したいと思う活動＞

性別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性（44.3%）の方が女性（32.3%）より12.0ポイント高くなっている。〈引き続き、または今後参加したい活動〉としては、すべての項目で女性の方が男性より高く、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は女性（28.5%）の方が男性（20.2%）より8.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性の18～29歳（56.9%）と40代（55.6%）で5割台半ばと高く、男女とも70歳以上（男性25.8%・女性17.6%）で最も低くなっている。活動としては、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は女性の40代以下で3割台と高く、男性の60代以上で1割台と低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は女性の60代で32.3%と最も高く、男性の18～29歳で9.7%と低くなっている。

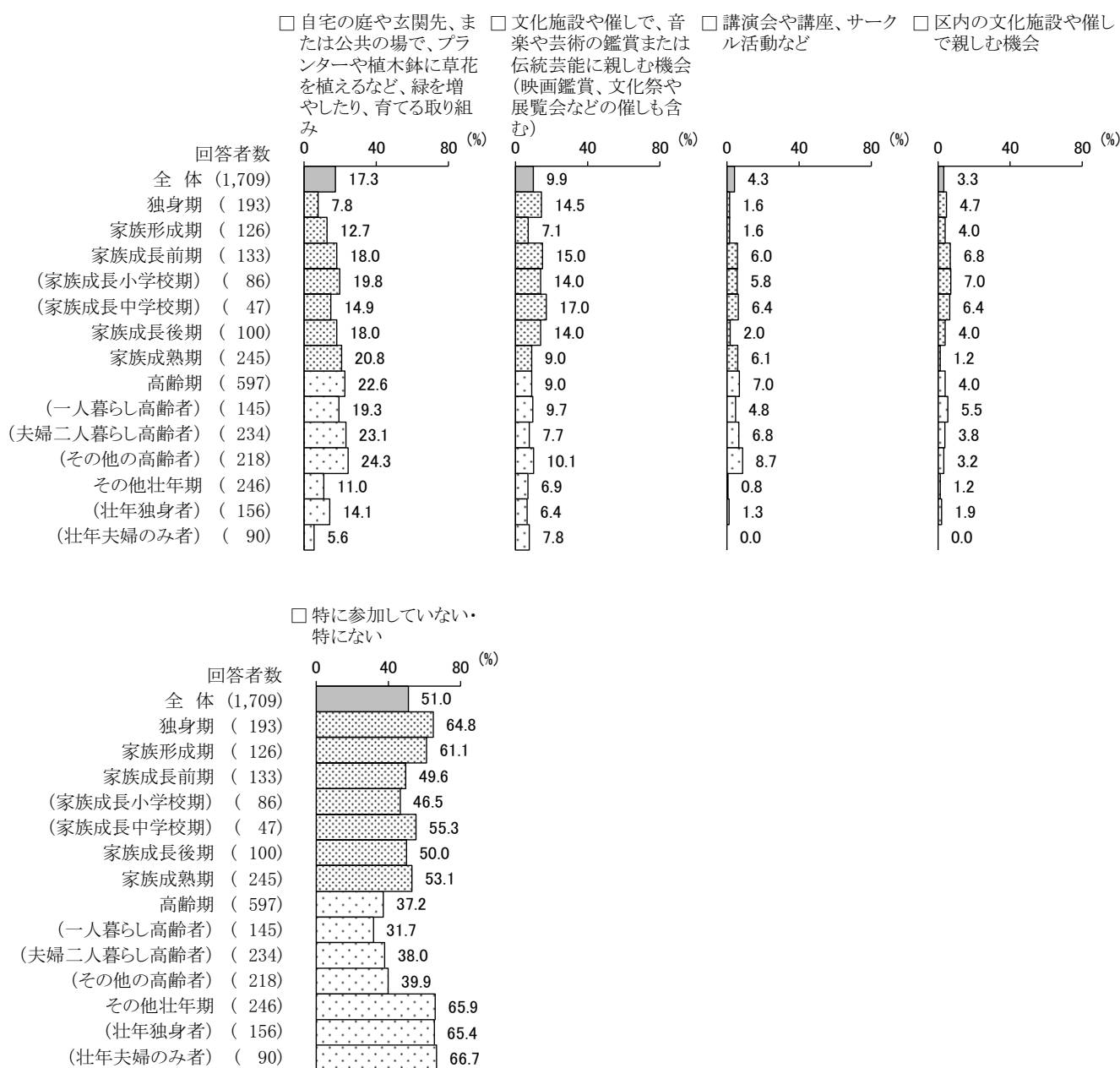
図8-6-4 性別、性・年代別／今後の参加意向／上位4項目



〈この1年間に参加した活動〉

ライフステージ別にみると、「特に参加していない・特にない」は〈その他壮年期〉(65.9%)と〈独身期〉(64.8%)で6割台半ばと高く、〈高齢期〉で37.2%と低くなっている。『参加した活動』では、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈高齢期〉で22.6%と高く、〈独身期〉(7.8%)で最も低くなっている。また、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会(映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は〈家族成長前期〉(15.0%)と〈独身期〉(14.5%)で高く、〈その他壮年期〉(6.9%)と〈家族形成期〉(7.1%)で低くなっている。

図8-6-5 ライフステージ別／この1年間に参加した活動／上位4項目



＜引き続き、または今後参加したいと思う活動＞

ライフステージ別にみると、「特に参加していない・特にない」は〈その他壮年期〉(52.8%)と〈独身期〉(48.2%)で5割前後と高く、〈高齢期〉で24.3%と低くなっている。『引き続き、または参加したい活動』では、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は〈家族成長前期〉で36.8%と最も高く、〈高齢期〉で19.1%と最も低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈家族成長前期〉(23.3%)で最も高く、〈独身期〉(14.0%)で最も低くなっている。

図8-6-6 ライフステージ別／今後の参加意向／上位4項目

